



# ごさまる通信



**雑誌の付録が当たる！  
新春ガラポン大会**



- 日にち 1月13日(月・祝)
- 時間 10:00~(景品がなくなり次第終了)
- 参加方法 当日貸し出したレシートを

見せるだけ！  
新春の運試し！  
何が当たるかな？



護佐丸歴史資料図書館 職員一同

ご利用いただきありがとうございます。  
本年もよろしくお願いたします。

新年あけまして  
おめでとーございませす  
旧年中は護佐丸歴史資料図書館を



## 中城村の獅子舞の歴史



【上映会&トークイベント】

### 『うむい獅子 - 仲宗根正廣の獅子づくり-』

出演：仲宗根正廣／監督：城間あさみ  
製作：海燕社 2022年 [上演時間 58分]

**日時：2月2日(日) 14:00~16:30**

※定員40名(当日受付 定員に達し次第受付終了)

獅子頭製作のドキュメンタリー映画『うむい獅子』の上映会。上映後、主演の仲宗根正廣氏が登壇し、中城村内の獅子頭製作や補修についてのエピソードを語ります。

【地域散策】 『津覇の拝所・名所』

**日時：2月9日(日) 14:00~16:00**

※定員10名(事前予約制)  
申込連絡先：098-895-5302  
護佐丸歴史資料図書館カウンターでも受付ます。

津覇集落内を歩いて廻り、集落内に点在する拝所・名所を解説します。  
年に数回しか表に出ない「津覇の神獅子」や「旗頭」の実物を見る事ができます。  
(※当日は図書館入口前に集合)



### 企画展「中城村の獅子舞の歴史」

令和7年1月25日(土)~2月24日(月)まで

護佐丸歴史資料図書館 3階企画展示室にて開催!(10時~17時まで)

企画展にあわせて各種イベントも実施! 皆さまのご来場をお待ちしています。

入場無料



# 1月開館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

平日は 19 時閉館 ○は 17 時閉館

■は休館日

おはなし会は  
まいつきだい にちようび  
毎月第2日曜日です!

## ★おはなしかい★

1月12日(日)

じかん…10:30~

ばしょ…1かいまどぎわスペース

おはなし会は、何歳からでも、どなたでも  
ご参加いただけます。

参加費や申込は必要ありません。

どうぞお気軽にご参加ください♪



1階児童書コーナー

2025年もたくさんの本と出会おう!

2階一般書コーナー

日経 GOSAMARU ~暮らしに役立つ本特集~、アスリート本

## 館長通信 VOL.46 蛇のはなし



今年巳年。人は蛇に神秘性を感じるらしく、蛇にまつわる神話や伝説が数多くあります。100年前に刊行された『南島情趣』(本山桂川、1925年)という本に「蛇の子を産んだ話」という宮古島の伝説が載っていました。平良村スミヤに住む娘のところに、どこの誰とも分からない美しい男が夜な夜な通ううち娘が懐妊する。驚いた両親が、娘に千尋の糸をつけた針を男の髪に刺すよう指示。夜が明けて糸を辿って行くと、漲水御嶽の洞窟の中に首に針の刺さった大蛇が!大蛇は娘の夢に現れ「私はコイツノという神で宮古の守護神を産もうと思ってお前のところに来た。お前は3人の女の子を産むであろう。子どもたちが3歳になったら漲水御嶽に抱いて来い」と告げる。3年後、子どもたちを連れて行くと、大蛇が現れ鳴き始めたので娘は気絶してしまうが、子どもたちは恐れることもなく大蛇に抱きついたりする。その後大蛇は天に昇り、子どもたちは御嶽に入って守護神となった。というお話です。「スミヤ」は北小学校隣の「住屋遺跡」の辺りでしょうか?だとすると漲水御嶽までは200m(111尋)ほどの距離ですので糸はかなり余りましたね。この話の元は1700年代初めに編纂された『宮古島旧記(御嶽由来記)』に見られます。さらに付け加えますと、この話や「アカマタと浜下り」は「蛇婿入り(おだまき型)」と呼ばれるもので、同様の話が日本各地にあり、古事記の三輪山伝説がその原型とのこと。